



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月7日

上場会社名 株式会社ジャムコ 上場取引所 東
 コード番号 7408 URL http://www.jamco.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大喜多 治年
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 執行役員 (氏名) 大倉 敏治 (TEL) 042-503-9145
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	58,499	△11.9	1,236	△82.5	802	△88.9	617	△86.3
28年3月期第3四半期	66,396	22.2	7,062	34.7	7,221	8.3	4,491	△0.1

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 367百万円(△92.0%) 28年3月期第3四半期 4,576百万円(△12.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	23.02	—
28年3月期第3四半期	167.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	90,333	27,443	29.5
28年3月期	92,284	28,202	29.7

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 26,646百万円 28年3月期 27,363百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,400	△8.9	1,800	△79.5	500	△93.9	300	△94.2	11.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	26,863,974株	28年3月期	26,863,974株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	38,730株	28年3月期	38,635株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	26,825,273株	28年3月期3Q	26,825,408株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きは終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、【添付資料】P.4「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間は、中国及びアジア新興国等の経済成長が減速するなど先行きに不安を抱えながらも、米国の景気動向は底堅く、又、日本及びユーロ圏でも緩やかな景気回復が続いており、世界経済全体は概ね堅調に推移しました。一方、英国のEU離脱問題や米国の金融政策の動向、米国大統領選挙の結果などにより為替相場が大きく変動したことで、金融市場の不確実性が高まり世界経済の先行きは、より不透明な状況となりました。

航空輸送業界では、世界的な航空需要の拡大と原油安がエアラインの収益改善に寄与しているものの、依然として競争の激化が続いています。大手航空機メーカーでは、大型機種の需要減少が懸念されていますが、航空機需要全体の増加に対応して主力小型旅客機の生産増強に向けた取組みを進める一方、ボーイング787型機やエアバスA350型機といった燃料効率の良い中型旅客機の新規生産も高水準を維持しております。

こうしたなか当社グループでは、航空機内装品等製造関連においては、787関連内装品の生産数量増加に対応しつつ、生産効率改善に向けた取組みを進めると共に、コスト削減をはじめとした諸施策を推し進めました。又、ボーイング777型機の後継機となるボーイング777X型機向けラバトリーやエアバスA350型機向け後部ギャレーの開発を進めました。しかしその一方で、エアラインから直接受注するギャレーにおいては、端境期を迎えている777型機などの従来型機向けの受注が減少しました。

航空機シート等製造関連においては、平成27年12月にシートの主要構成部品(バックシェル、コンソール等)の量産を開始した(株)宮崎ジャムコ第二工場の生産体制の確立及び生産効率の向上に取り組まれました。

航空機器等製造関連においては、炭素繊維構造部材の新規品目であるエアバスA350型機向け貨物室床下構造部材のコスト増加に対して改善を進めると共に、その他の製品についてもコスト削減を推し進めました。

航空機整備等関連においては、飛行安全の確保と品質向上の取組みを継続すると共に、受注回復に努め生産性改善に向けた取組みを進めました。

当第3四半期連結累計期間における円・ドル為替相場は、前年同四半期に対して大幅に円高となったことにより、ドル建売上高の目減り、ドル建売上債権等に係る為替差損の発生など、円高による影響を大きく受けました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高 58,499百万円(前年同四半期比 7,896百万円減)、営業利益 1,236百万円(前年同四半期比 5,826百万円減)、経常利益 802百万円(前年同四半期比 6,418百万円減)、親会社株主に帰属する四半期純利益 617百万円(前年同四半期比 3,873百万円減)となりました。

グループ全体の販売費及び一般管理費、営業外損益、特別損益の状況の状況は次のとおりです。

販売費及び一般管理費は、試験研究費の減少等により 6,460百万円(前年同四半期比 859百万円減)となりました。

営業外損益は、前年同四半期に対して円・ドル為替相場が円高方向に推移したことで為替差損 184百万円を計上したことなどにより、433百万円の損(前年同四半期は、159百万円の益)となりました。

特別損益は、固定資産処分損、本社移転費用等により、23百万円の損(前年同四半期は、10百万円の

損)となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

[航空機内装品等製造関連]及び[航空機シート等製造関連]

平成28年6月28日付の組織再編に伴い、航空機シート等製造関連セグメントを新たに設け、これまで航空機シート等製造関連を含んでいた航空機内装品等製造関連セグメントを2つに分離しました。

当事業では、787型機向け製品や航空機用シートの出荷は増加しましたが、787型機以外の機種向けギャレーの売上高が減少し、又、前年同四半期は好調だったスペアパーツ販売も今期においてはやや低調に推移しました。これらに加えて、為替相場が円高となったことによる外貨建売上高の目減り、営業外為替差損の発生などにより、前年同四半期に比べて売上高、経常利益共に減少しました。

この結果、航空機内装品等製造関連に航空機シート等製造関連を含んだ、これまでの航空機内装品等製造関連セグメントの区分による業績は、売上高 48,514百万円(前年同四半期比 7,083百万円減)、経常利益 865百万円(前年同四半期比 5,982百万円減)となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間における各セグメントの業績は、航空機内装品等製造関連は、売上高 40,461百万円、経常利益 3,004百万円、航空機シート等製造関連は、売上高 8,053百万円、経常損失 2,138百万円となりました。

[航空機器等製造関連]

当事業では、民間航空機用エンジン部品の受注が堅調で生産量も増加しましたが、エアバスA380型機向けの炭素繊維構造部材の生産量の減少、為替相場が円高となったことによる外貨建売上高の目減りなどにより売上高が減少しました。又、新規品目のA350型機向け炭素繊維構造部材の原価低減を推し進めたものの上期の損失の影響が残り、当事業全体でも僅かながら経常損失となりました。

この結果、航空機器等製造関連は、売上高 4,721百万円(前年同四半期比 145百万円減)、経常損失 8百万円(前年同四半期は経常利益 312百万円)となりました。

[航空機整備等関連]

当事業では、特別作業の受注や完成工事が多く比較的好調に推移した前年同四半期に対し、今期においては完成工事が減少するなどにより売上高が減少しました。又、売上高の減少に伴い事業全体の採算性が低下して経常損失となりました。

この結果、航空機整備等関連は、売上高 5,262百万円(前年同四半期比 666百万円減)、経常損失 53百万円(前年同四半期は経常利益 61百万円)となりました。

[その他]

その他の区分には、連結子会社の(株)オレンジジャムコ及び(株)ジャムコテクニカルセンターの事業を含んでいます。なお、(株)ジャムコテクニカルセンターは、平成28年3月31日付で解散し平成28年8月22日付で同社の清算は終了しました。

この結果、その他の区分では、売上高 0百万円(前年同四半期比 0百万円減)、経常損失 0百万円(前年同四半期は経常損失 0百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産・負債・純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は 90,333百万円となり、前連結会計年度末に比べ 1,950百万円減少しました。内、流動資産については、現金及び預金の減少(前期比 657百万円減)、仕掛品の減少(前期比 265百万円減)、原材料及び貯蔵品の減少(前期比 542百万円減)等により流動資産合計で前連結会計年度末に比べ 2,390百万円減少しました。又、固定資産については、不要不急な設備投資を抑制した一方で、航空機シート用試験機の導入などシート事業に係る投資を進めた結果、固定資産合計で前連結会計年度末に比べ 439百万円増加しました。

負債合計は 62,889百万円となり、前連結会計年度末に比べ 1,192百万円減少しました。主な要因は、借入金(前期比 2,106百万円増)、工事損失引当金(前期比 243百万円増)等の増加はありましたが、支払手形及び買掛金の減少(前期比 643百万円減)、未払法人税等の減少(前期比 1,486百万円減)、賞与引当金の減少(前期比 1,219百万円減)等によるものです。

純資産合計は 27,443百万円となり、前連結会計年度末に比べ 758百万円減少しました。主な要因は、利益剰余金の減少(前期比 455百万円減)、繰延ヘッジ損益の減少(前期比 372百万円減)等によるものです。この結果、自己資本比率は 29.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、平成28年11月2日に公表した通期連結業績予想数値に対して、利益面の進捗率は想定を上回りました。これは第3四半期末にかけて為替相場が円安になり、ドル建売上債権等の為替評価による為替差損が減少したことなどによるものです。

平成29年3月期の通期連結業績予想につきましては、第4四半期末にかけて為替相場が変動し円高となる可能性などを考慮し、平成28年11月2日に公表した業績予想数値の変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,479,003	2,821,660
受取手形及び売掛金	20,232,940	20,278,959
商品及び製品	580,002	1,181,851
仕掛品	22,938,144	22,672,761
原材料及び貯蔵品	18,691,439	18,149,215
その他	6,714,549	5,142,913
貸倒引当金	△4,501	△6,036
流動資産合計	72,631,578	70,241,325
固定資産		
有形固定資産	14,496,373	14,728,767
無形固定資産	1,213,884	1,389,882
投資その他の資産	3,942,502	3,973,618
固定資産合計	19,652,760	20,092,269
資産合計	92,284,339	90,333,594
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,216,137	14,572,992
短期借入金	22,374,049	24,880,320
未払法人税等	1,598,026	111,295
賞与引当金	1,894,715	674,834
工事損失引当金	1,827,438	2,070,659
その他	8,832,547	8,380,773
流動負債合計	51,742,914	50,690,876
固定負債		
長期借入金	5,100,000	4,700,000
役員退職慰労引当金	154,939	159,047
執行役員退職慰労引当金	80,869	113,823
退職給付に係る負債	6,738,093	6,775,141
環境対策引当金	6,887	-
その他	258,316	451,101
固定負債合計	12,339,105	12,199,112
負債合計	64,082,020	62,889,989

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,359,893	5,359,893
資本剰余金	4,367,993	4,367,993
利益剰余金	17,684,729	17,229,219
自己株式	△30,452	△30,689
株主資本合計	27,382,163	26,926,416
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	87,484	100,961
繰延ヘッジ損益	-	△372,876
為替換算調整勘定	214,971	251,557
退職給付に係る調整累計額	△320,734	△259,430
その他の包括利益累計額合計	△18,278	△279,788
非支配株主持分	838,434	796,977
純資産合計	28,202,319	27,443,605
負債純資産合計	92,284,339	90,333,594

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	66,396,001	58,499,644
売上原価	52,013,034	50,802,532
売上総利益	14,382,966	7,697,112
販売費及び一般管理費	7,320,655	6,460,922
営業利益	7,062,311	1,236,189
営業外収益		
受取利息	941	4,415
受取配当金	4,166	4,445
為替差益	266,086	-
持分法による投資利益	23,743	20,635
助成金収入	65,053	60,003
その他	30,065	40,216
営業外収益合計	390,056	129,716
営業外費用		
支払利息	202,466	218,642
為替差損	-	184,512
支払補償費	-	127,324
その他	28,400	32,880
営業外費用合計	230,866	563,359
経常利益	7,221,500	802,546
特別利益		
投資有価証券売却益	-	4,062
固定資産売却益	1,799	360
特別利益合計	1,799	4,423
特別損失		
固定資産処分損	10,765	14,842
本社移転費用	-	13,320
その他	1,522	-
特別損失合計	12,288	28,162
税金等調整前四半期純利益	7,211,011	778,807
法人税、住民税及び事業税	2,174,180	9,801
法人税等調整額	464,386	137,927
法人税等合計	2,638,567	147,728
四半期純利益	4,572,444	631,078
非支配株主に帰属する四半期純利益	81,092	13,575
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,491,352	617,503

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	4,572,444	631,078
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,434	13,477
繰延ヘッジ損益	-	△372,876
為替換算調整勘定	△33,682	40,376
退職給付に係る調整額	25,453	61,303
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,103	△5,541
その他の包括利益合計	4,102	△263,260
四半期包括利益	4,576,546	367,818
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,505,168	355,993
非支配株主に係る四半期包括利益	71,378	11,824

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	航空機内装品 等製造関連	航空機器等 製造関連	航空機整備等 関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	55,598,731	4,867,650	5,929,555	66,395,938	63	66,396,001
セグメント間の内部売上高 又は振替高	113,623	39,446	334,895	487,965	99,979	587,945
計	55,712,355	4,907,096	6,264,451	66,883,904	100,042	66,983,946
セグメント利益又は損失(△)	6,848,229	312,632	61,354	7,222,217	△716	7,221,500

(注) 「その他」の区分には、関係会社の(株)オレンジジャムコ及び(株)ジャムコテクニカルセンターの事業を含んでおります。(株)オレンジジャムコは企業の社会的責任の一つである障がい者の雇用促進のための特例子会社であり、当社工場内の補助的作業を行っております。又、(株)ジャムコテクニカルセンターは新技術、新製品の研究開発を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	7,222,217
「その他」の区分の損失(△)	△716
四半期連結損益計算書の経常利益	7,221,500

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性がないため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	航空機 内装品等 製造関連	航空機 シート等 製造関連	航空機器等 製造関連	航空機 整備等関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	40,461,556	8,053,375	4,721,717	5,262,934	58,499,584	60	58,499,644
セグメント間の内部 売上高又は振替高	719,068	—	3,524	40,012	762,605	67,918	830,524
計	41,180,625	8,053,375	4,725,242	5,302,946	59,262,190	67,978	59,330,169
セグメント利益 又は損失(△)	3,004,488	△2,138,859	△8,348	△53,905	803,374	△827	802,546

(注) 「その他」の区分には、関係会社の㈱オレンジジャムコ及び㈱ジャムコテクニカルセンターの事業を含んでおります。㈱オレンジジャムコは企業の社会的責任の一つである障がい者の雇用促進のための特例子会社であり、当社工場内の補助的作業を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	803,374
「その他」の区分の損失(△)	△827
四半期連結損益計算書の経常利益	802,546

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

当社を取り巻く経営環境と当社の事業規模の変化等を踏まえ、今後も更なる増大が予測される民間航空機需要に対応できる体制を構築することなどを目的として、平成28年6月28日より、従来の社内カンパニー制を廃止し、1事業本部、4事業部に再編しております。従来、航空機内装品製造事業において行っていた客室の座席(シート)の開発・設計・製造の事業を独立させ、「航空機内装品製造事業部」、「航空機シート製造事業部」、「航空機器製造事業部」、「航空機整備事業部」の4つの事業部に再編し、この内、航空機整備事業部を除く3つの製造関連の事業部を一括りにした「航空機内装品・機器事業本部」を新設しております。これに伴い、第2四半期連結会計期間より、「航空機内装品等製造関連」、「航空機器等製造関連」、「航空機整備等関連」としていた報告セグメントを、「航空機内装品等製造関連」、「航空機シート等製造関連」、「航空機器等製造関連」、「航空機整備等関連」へ変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報を、当第3四半期連結累計期間におけるセグメント区分に基づいて作成するために必要な情報を遡って入手することは困難なため、次のとおり、当第3四半期連結累計期間について、前連結会計年度の区分方法に基づき作成しております。

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	航空機内装品 等製造関連	航空機器等 製造関連	航空機整備等 関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	48,514,932	4,721,717	5,262,934	58,499,584	60	58,499,644
セグメント間の内部売上高 又は振替高	50,259	3,524	40,012	93,796	67,918	161,715
計	48,565,192	4,725,242	5,302,946	58,593,381	67,978	58,661,360
セグメント利益又は損失(△)	865,628	△8,348	△53,905	803,374	△827	802,546

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。